

平成24年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A19	取組 名称	学生の感性を活かした西陣織製品開発・西陣紋意匠の手業文化の記録・西陣 ミュージアム構想の検討
研究代表者：		生命環境科学研究科	職・氏名： 教授・三橋俊雄
研究担当者： 京都府立大学（三橋俊雄）、環境デザイン学科（4回生・斉藤千容） 外部分担者・協力者（及川光夫氏、川上忠義氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 西陣意匠紋紙工業協同組合			
【研究活動の要約】			
<p>景気低迷が続き、和装離れも進む中で、西陣織の和装業界は新たな活性化が求められています。その一つに20代の若者をターゲットとした西陣織製品のマーケット開発が考えられます。しかし、伝統的工芸品産業である西陣織製品は値段が高い、堅苦しく洋装に合うデザインの製品が少ないなどのために若者が身に着ける機会は減多にないのが現状です。</p> <p>本研究は、西陣織のプリントや染には見られない織技法の特徴や魅力を活かし、現代の若者ニーズに受け入れられるテキスタイルデザイン及び製品デザインに向けた提案を行い、若者に西陣織を身近なファッションアイテムとしてもらうための研究です。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>本研究では、以下のプロセスを通して、新しい西陣織のデザイン開発を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) テキスタイルデザインの展開：ファッション雑誌やファッション店舗調査などから新しい西陣織紋様のイメージを採集。集めた紋様イメージを分類し、デザインコンセプトを設定。分類した紋様をもとに新しいデザインイメージを配置・色彩などの調整を繰り返しながら制作しました。 2) マーケットイメージの検討：ファッション雑誌、web ページから女性ファッションイメージを採集し、①最先端に行くモード、②大人の上品さ、③ビビット・大胆さの3領域イメージマップを作成。 3) バッグイメージの検討：バッグの価格設定、売れ筋バッグのデザイン評価を行い、バッグモデルと制作した紋様デザインを合成してイメージシュミレーションを行いました。 4) 紋意匠図の設計：提示したデザインをもとに紋意匠家と、織りの技法・緯糸の色／素材等の検討を行い、紋意匠図の設計を依頼しました。 5) 目出し（試し織り）の検討：織り上がった目出し(13点)を評価し、その中から3点について、原図に近い色表現の可能性を探るため、紋意匠図の修正・制作を依頼しました。 6) 本研究の成果：西陣織に向けた新しい感覚のデザインと実験的試し織りを実施し、従来の西陣織りイメージから脱皮できるデザインや織り技術の可能性を明らかにしました。 			
【研究成果の還元】			
<p>H25/2/19、「学生の感性を活かした西陣織デザイン研究報告会」、西陣意匠紋紙工業協同組合、関係者等約20名。</p> <p>H25/2/12～14、「環境デザイン学科卒業制作展」、大学会館多目的ホール、関係者等約60名</p>			
【お問い合わせ先】 生命環境科学研究科、三橋研究室 教授 三橋俊雄 E-mail: tmitsu@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）

20代女性をターゲットとした西陣織デザインとバッグイメージ(13点)



西陣織表現一覧（織りの技法、織り・糸の指定）

織り上り（目出し）写真(例)

No	コード	図柄	織の技法	織りと糸の注文項目
1	A2	アイビー01	線画風	1)地に黒のドットを入れる 2)葉の部分に2丁黒を入れる
2	A3-1	アイビー02	図と地の色を同色にし、織で紋様を表現	1)金色の葉は緯糸をわざととめない 2)金糸を用いる
3	A3-2	アイビー03	地に同色の新しい紋様表現	1)地に撚り糸でドットの紋様を入れる 2)茎と一部の葉の線部分を膨らませる 3)地に銀モクを織り込む
4	B1	スクエア	スクエアごとに織組織を変える	1)銀モクを織り込む 2)畦で処理する
5	C1	ポピー	花びらの織組織を変える	1)花の中央に螺旋をかけた撚り糸を使って、立体的に 2)地に銀モクを織り込む
6	D1	小バラ	小バラの色面を水彩画っぽくふんわりと表現	1)花の部分を砂子でぼかし水彩画風に 2)地に銀モクを織り込む
7	E1	ドット	ドットを織と糸切り(ピロード)で表現	1)銀モクをピンクの糸に巻きつけ、地を織る 2)色の濃いドットはとじて緯糸を細かく止め立体的に 3)色の薄いドットは緯糸を1つだけ表に出す
8	F1	枝	地と線部分を麻で織る。ビーズ、パールをつける	1)枝の中は地上げで表現 2)地に白色で粉雪の紋様表現 3)トルマリンを練りこんだ糸を使う 4)花にパール箔を用いる
9	G1	花ドット	花ドットを中心に経(レース編み)風に織る	1)リリアン糸を使う 2)花の部分の地の経糸を浮かせレースのようなふわふわ感を出す 3)テキスタイルにクシャクシャ感を出す
10	H1	ブドウ01	糸色を蛍光色風に。地に斜めのライン	1)蓄光染めの糸で蛍光色を表現 2)地に同色のライン紋様 3)葉の葉脈に色金糸を用いる 4)経糸と緯糸に黒を使い地色を濃くする
11	H2	ブドウ02	図柄はモワモワ(ピロード)、地は銀箔を織り込む	1)ブドウの周りを粗い砂子でぼかし表現 2)葉脈は地で落とし、葉は白色で織る
12	I1	赤黒バラ	黒い花を立体的に織り、赤い花と白地はベタツと	1)黒と赤のバラに箔を用いる 2)黒バラの中央には色金糸を用いる 3)袋帯に使われる錦で織る
13	A3-3	アイビー	伝統的な技法で依頼	1)金の撚り箔で流水の地紋様を入れる 2)2色の糸を互いの場所に差し込み、葉の面をグラデーションにする 3)茎の線を浮くように彫る

